

平成21年 2月例会

技術委員会担当例会

と き : 平成21年 2月 16日 (月)
場 所 : 堂島ホテル

〔第1部〕例会 15:00~15:40

担当: 業務委員会

会場: 6F「HUDSON(ハドソン)」

司会: 松村和夫業務委員長

1. 開会挨拶 : 西村清志会長
2. 役員会報告: 西邦弘運営・渉外担当副会長
3. 委員長報告: 業務、情報、技術、会員の
各委員長
4. 行事報告 : 鈴木雄次情報副委員長
5. 賛助会員技術紹介

「MAX ウェブレンの概要」

ティエム技研株式会社 大阪支社

浜田一幸 氏

〔第2部〕講演会 15:45~17:50

担当: 技術委員会

会場: 6F「HUDSON(ハドソン)」

司会: 新井泰夫技術委員

1. 主旨説明 前川忠弘技術委員長
2. 講演1「建築士の重要事項説明と契約」
講師 西邦弘運営・渉外担当副会長
国土交通省
建築技術基準調査委員会/構造規準調査WG委員
建築制度運用調査委員会/基本問題調査WG委員
3. 講演2「ダイナミックデザインへの誘い」
講師 日本大学理工学部建築学科教授
石丸辰治 氏

4. 質疑応答

5. 謝辞 稲葉繁夫事業担当副会長

〔第3部〕懇親会 18:00~19:30

担当: 会員委員会

会場: 3F「AMBER(アンバー)」

司会: 報国エンジニアリング(株) 中村紀子さん

1. 主旨説明 土野池正義会員委員長
2. 開会挨拶 西村清志会長
3. 新入会員紹介
4. 乾杯挨拶 鈴木計夫顧問
5. 懇親会 コマーシャルテーブル他
6. 閉会挨拶 谷尾俊弘事務局長

平成19年6月の建築基準法改正による構造計算適合判定制度への対応等構造設計者の負担が大きくなっています。また平成21年度には構造設計一級建築士制度も新たに始まります。同時に昨秋を過ぎ急速な経済不況となり、益々構造設計者が淘汰される時代となっております。技術委員会としてもこのような時代に適した新技術・新工法の研究発表会の場を設けて行きたいと思っております。

今回講演をお願いした日本大学教授 石丸辰治先生の「ダイナミックデザインへの誘い」は2008年7月に出版された「対震設計の方法」の副題であり、動的構造設計の視点から地震に対処する方法を述べておられます。動的解析と聞くと一般の構造設計者にとって縁遠いと思いがちですが、ダンパーを用いた動的解析について、1時間30分と時間が短いなか、解り易く解説して戴けるものと思います。KSE構造設計者の技術向上の位置づけとして企画いたしました。

技術委員長 前川忠弘

講師プロフィール

石丸辰治 (いしまる しんじ)

【略歴】

1940年2月: 新潟県生まれ
1963年3月: 日本大学理工学部建築学科卒業
1965年3月: 日本大学大学院修士課程修了
1965年4月: 日本大学理工学部助手
1969年6月: 日本大学理工学部専任講師
1976年4月: 日本大学理工学部助教授
1978年3月: 工学博士
1983年3月: 日本大学理工学部教授 現在に至る

建築センター 免震構造評定委員

〃 技術指導委員長

建築学会 構造委員会応力小委員会委員

〃 免震構造小委員会委員

などを歴任

【賞】

1994年度日本建築学会賞(論文)受賞
「建築物の地震応答制御に関する研究」

【主著書】

「構造物の動的解析」

建築技術(1980年~1983年に連載)

「建築構造物の設計力学と制御動力学」

日本建築学会, 1994年(共著)

「ヴェジュアル版建築入門3 建築の構造」

彰国社, 2002年(共著)

「応答性能に基づく「対震設計」入門」

彰国社, 2003年

「対震設計の方法ーダイナミックデザインへの誘いー」
建築技術, 2008年



平成20年12月例会報告

例会の感想

と き : 平成20年12月1日(月)
場 所 : 堂島ホテル

- 〔第1部〕例会 14:30～15:10
担当:業務委員会
会場:6F「HUDSON(ハドソン)」
司会:角 泰宏業務委員
- 1.開会挨拶 : 西村清志会長
 - 2.役員会報告 : 西邦弘運営・渉外担当副会長
 - 3.委員長報告 : 業務、情報、技術、会員の各委員長
 - 4.行事報告 : 鈴木雄次情報副委員長
 - 5.賛助会員技術紹介
「SUB(鋼製座屈拘束ブレース)の紹介」
住金関西工業(株) 牧野俊雄氏
- 〔第2部〕講演会 15:20～17:20
担当:業務委員会
会場:6F「HUDSON(ハドソン)」
司会:新保勝浩業務副委員長
- 1.主旨説明 松村和夫業務委員長
 - 2.「府省連携プロジェクト
高強度鋼による新構造システムの開発」
新日本製鐵(株) 建材開発技術部
志村保美(シムラヤスミ)氏
 - 3.「建築士法改正による構造事務所への影響」
松村和夫業務委員長
- 〔第3部〕懇親・忘年会 18:00～19:30
担当:会員委員会
会場:3F「AMBER(アンバー)」
司会:報国エンジニアリング(株) 中村紀子さん
- 1.主旨説明 土野池正義会員委員長
 - 2.開会挨拶 西村清志会長
 - 3.乾杯挨拶 松田正英会員副委員長
 - 4.懇親会
コマーシャルテーブル紹介
新入会員紹介
ビンゴゲーム、他
 - 5.閉会挨拶 稲葉繁夫事業担当副会長

施行されたばかりの改正建築士法が事務所経営に及ぼす影響について必要な情報の公開と今後の注意点についてのアナウンスが出来ました。

業務委員会の担当例会で会員の基本的資格「建築士」が改正法で知らない間に危機的状況にある現状を認識していただく絶好の機会に恵まれ感謝いたします。また講演会では府省連携の産官学一体となった日本の最先端技術開発(解析・材料・工法・架構形式・地震入力など)と実験による検証などの最新情報の紹介によって、いずれ近い将来一般化されていく「大地震にたいする弾性設計法」の構造設計技術についてわかり易く説明いただきました。

本講演を快諾下さいました新日本製鐵(株)の皆様と、講師の志村様には心より感謝を申し上げます。



役員会報告

と き : 2009年 1月 26日(月) 18:00～19:00 場所:晴好
出席者: 西村清志会長、西邦弘副会長、稲葉繁夫副会長、谷尾俊弘事務局長
松村和夫業務委員長、前川忠弘技術委員長、樋笠康男情報委員長
佐久間周治監事、永谷芳郎、長谷川薫の各理事 オブザーバー:馬瀬芳知相談役

- 報告事項 1. 2月例会について前川忠弘技術委員長より説明があった。
- ・例会式次第案の西邦弘副会長担当の最新情報報告については、1部でなく2部に入れ換える。
 - ・会場の設定理由についての説明がおこなわれた。
 - ・2部の石丸先生の件の趣旨説明が行われた。西村会長より石丸先生に正式依頼を行い、かつ「わかり易く」していただくよう申し入れる。
 - ・石丸先生の「ダイナミックデザインの誘い」の本と、先生の略歴について説明があった。
 - ・司会是新井泰夫技術委員がおこなう。
 - ・先生への講演について謝礼を予定している。
2. 2009年度版標準図CDの発売予定について、樋笠康男情報委員長より説明があった。
- ・2009年度版標準図CDは、4/1(水)に1,000枚発売の予定。
 - ・発売価格は5,000円、会員価格について役員会で検討願う。

- 審議事項 1. 2月例会について
- ・CDユーザーを例会無料にする件、25万円程度の出費が発生する件、会場の件、先生への謝礼の件。以上の4件について全員一致で賛成、承認可決された。
2. 2009年度版標準図CDについて
- ・CDを1,000枚作成発売する(次年度)件、KSE正会員75社分は無料配布する件。以上の2件について全員一致で賛成、承認可決された。

委員会報告

[業務委員会]

本年1月7日に国土交通省告示第15号として業務報酬基準が告示されました。

つきましては業務委員会では告示内容を充分吟味して構造設計料算出上および根拠説明上で役立ち、重要と思われる点について機会を得て発表して行きたいと考えております。

業務委員長 松村 和夫

[技術委員会]

平成21年1月21日健保会館5階1号会議室にて、第4回技術委員会、設計標準図作成部会を合同で開催。

■第37回技術交流会11/18に行い、今後もつづける。次回をH21/3月中頃～4月初めとしたい。テーマについては、技術交流会準備委員会におまかせする。(栃尾・重久・中尾の各副委員長)適判問題を盛り込みながら意見交換していくのも一案である。

■KSE標準図2009年度版の改訂内容

2008年度版標準図よりの主な改訂内容は以下のとおりです。

1. 構造特記仕様書 § 7-11 溶接部の受入検査の抜き取り方法、および抜き取り率を建築学会JASS6に準拠。各仕様書との比較、検査手順等を別紙に記載。
2. 鉄筋コンクリート配筋標準図 § 3-2 柱脚主筋の直線定着の要領図を加えた。 § 4-2 中柱の柱頭において梁主筋を通し配筋とする場合梁拘束筋を落とし込む。 § 4-7 梁の貫通補強で補強を要しない孔径をD/8未満を、公共建築工事標準仕様書のD/10以下とした。
3. 鉄骨工作標準図 § 9-1 貫通補強Fタイプを既製品(評定品)を用いた場合に変更。
4. 鉄骨ブレース短期許容引張耐力を鋼構造接合部設計指針により計算したものを別紙に記載。

技術委員長 前川 忠弘

[情報委員会]

第4回情報委員会を1/22(木)に開催。

1. H21.2/16(月)の2月例会について

- ・担当は技術委員会、情報委員会は行事報告を鈴木雄次副委員長にお願いする。
- ・かわら版作成、樋笠が各担当者に原稿を依頼し、準備する。

2. 2009年度版標準図CDについて

- ・技術委員会より標準図データ受領予定。
- ・賛助会員に広告・標準図・認定書データの掲載を依頼中、2月初旬には原稿を揃えてGS真鍋さんに送付、3月中にCD作成を終え、4/1に発売予定。
- ・製作枚数は1,000枚とするが、役員会で了承を得る。

次回予定: H21年, 4/16(木)

16:30～18:00 KSE事務局会議室にて

情報委員長 樋笠 康男

[会員委員会]

ジャパンパイル株式会社関西支社(3F会議室)にて第4回の会員委員会を開催しました。

■例会第3部会の専任運営とCMテーブルの利用形態と今後の利用方法について。

■5月例会(総会)の会員委員会の担当について鉄骨関係(溶接基準及び検査方法、冷間成形角型鋼管設計指針改定、JASS6改定等)についての講演会又は技術紹介を開催予定。

■見学・研修会について、ダイフク滋賀工場(日に新館)、第二京阪建設現場を候補として検討する。

■正会員、賛助会員の入会拡大について、CD-ROM購入者(600社)への勧誘方法の再考と情報委員会とのコラボレーションとしたい。

■会員委員会親睦事業について、継続的に実施する。

会員委員長 土野池 正義

関西PC研究会報告

平成21年 1月24日(土)、大阪ビジネス会議センタービル地下1階にて

WG 13:00～14:00, 本会 14:00～17:00

例会 18:00～20:00 で開催されました。

次回は4月に開催予定です。

新入会員紹介

山下工業株式会社(賛助会員)

代表者: 山下達教、担当者: 藤井寛之

TEL: 06-6484-0725, FAX: 06-6484-0726

主たる業務

地盤調査・地盤補強工事

平成21年 4月 2日(木曜日) 9時24分

アウトイン同時スタート: 集合 9:00 厳守

太子カントリー倶楽部:

〒583-0994 大阪府南河内郡太子町葉室800

TEL: 0721-98-5800 FAX: 0721-98-5656

会費: 5,000円(プレー費、キャディ付、昼食代含む・・・14,000円)

第73回KSEゴルフコンペ案内

今春もKSEゴルフコンペを開催する季節となりました。開催地は大阪近郊で市内から約35分で、緩やかな丘陵コースです。アウトとインでは、がらりと趣の違ったレイアウトで豪快な攻めと計算したショットを要求されます。アウトが森林浴ムードの設定で、インは一転して丘陵のプレッシャーを与える造りになっています。名物は美観と難度が同居する14番ショートで、右サイドの川がグリーン手前の池につながり、大きなビーチバンカーが砲台気味のグリーンをガードしていて綺麗なホールです。

賛助会員の方々におかれましては、正会員とのコミュニケーションを十二分に計れるコンペです。また、正会員の方々は構造一級建築士制度が施行された一年目に当たります。責任のある仕事に暫しの憩いにご参加下さい。歴史のあるKSEゴルフコンペに奮って御参加を賜りたく、お願い申し上げます。(KSE会ゴルフコンペキャプテン

(株)構造総研 長谷川 薫)

新年の挨拶

会長 西村 清志

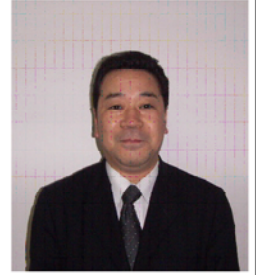
新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。構造設計事務所にとって、新たなステージが始まる輝かしい年になると思っていますが、昨年末より情勢は大変厳しくなってきました。こまが踏ん張り所と感じております。私たちの追い風は本年、構造設計一級建築士制度が施行され、業務報酬基準では告示15号が示され、構造設計の経費が明確化されました。これを機に構造設計事務所が益々発展する年になることを念願しております。また、KSEは会勢拡大を意図し、会員増強を計画しております。CD標準図を購入された方を例会にご招待すること役員会で可決していただきました。2月例会でも試行していきたいと考えております。会員の皆様には今一層のご協力よろしくお願い申し上げます。



運営・渉外担当副会長

西 邦弘

会員の皆さま、明けましておめでとうございます。今年には構造設計一級建築士・元年です。一級建築士の構造設計に法適合確認の必要性がでてきます。



構造計算適合性判定が始まり3年目を迎える時期にこの改正土法の施行に建築士は深く土法令遵守が重要になります。今年には構造設計を行う場合の土法上の注意点などを共に勉強していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

事業担当副会長

稲葉 繁夫

平成21年の新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。世界中を巻き込んだ金融危機は、建築分野でも建設投資が減少し新築着工も伸び悩みが見られるなど、前年に比べて相当厳しい市場動向であります。この難しいビジネス環境においては、現実を直視する勇氣と将来へのプランを立てる行動が求められていると思います。我々構造設計事務所にとりましても、今まで無く業務環境（改正建築基準法・土法等）が大きく変わって来ていますが、この変革をチャンスと捉えKSEでは、西村会長を中心に会勢拡大を計って行きたいと思っています。皆様方にとりましても新しい年が希望に満ち、飛躍する年になる事を祈念し、併せてKSEに対してご指導、ご支援をお願い申し上げます。



事務局長 谷尾 俊弘

平成17年末より社会資本整備審議会建築分科会で練られ「建築偽装事件の再発防止、法令遵守を徹底することにより建築物の安全性に対する国民の信頼を回復」することを目的に、建築基準法・建築士法等が改正され、①の建築確認、検査の厳格化から⑦の施行期日まで一通りの改正される内容が示されました。我々、構造設計を「なりわい」とする者にとって吹いている風は「against」なのか「follow」なのか判断出来難い仕組ですが、此の機会に構造設計者の社会的地位の向上を計ると共に、KSE協会を皆様で盛り上げて頂けたらと思います。事務局は月・水・金曜日のAM10.00～PM3.00まで山本様が居られます、事務的な話は此の時間帯でお願いします、その他標準図・会合等に関する問い合わせは各委員会で対応しております。今年も会員の皆様にとって良い年でありませう。



賛助会員技術紹介

テイエム技研株式会社 大阪支社

当社は昭和53年の創業以来、建築補強材の分野で日本一のシェアを誇り、高い信頼と評価を頂いております。開孔補強筋MAXウエブレンは業界のゆるぎないポジションを確立しており、絶え間ない研究・開発を基盤に絶えず新しい分野へのチャレンジを続けております。また壁開口隅角部補強にはBCJ-審査証明-90を取得したビッグレンがごさいます。今後も新たな可能性を求め、社会に役立つ企業としてその役割をはたしていきます。

梁開孔補強筋
MAX ウエブレン
BCJ 評定-RC0097-03



H21年 5月 総会の案内

とき : 平成21年 5月 吉日
場所 : 堂島ホテル
担当 : 会員委員会

【発行】関西建築構造設計事務所協会 情報委員会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2番2号
東興ビル406
TEL : 06-6763-8205 , FAX : 06-6763-8206
編集長 : 樋笠康男 (株)長田建築事務所
発行日 : 平成21年 2月16日 通巻42号